

4.6 人と自然との触れ合いの活動の場

4.6.1 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果

1) 調査方法

水遊び場、自然歩道、ハイキングコース、キャンプ場などに代表され、不特定かつ多数の者が利用している「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」の分布及びその利用の状況、利用環境の状況を把握するため、文献調査、踏査及び聞き取り調査を行った。

2) 調査区域

調査区域は、図 4.6.1-1 に示すとおり、湛水予定区域とその周辺区域及びその下流の川辺川とした。

3) 調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況を図 4.6.1-1 に示す。

川辺川流域は山岳地形を呈し、その大部分は森林植生に覆われている。また、調査区域内を流れる川辺川は、支川の山口谷川との合流点より上流では山岳地形を刻む溪谷を流下し、合流点より下流では谷がやや開けている。

調査区域内には、水遊び、カヌー、ラフティング、釣り、デイキャンプなどの水辺における自然との触れ合いの活動が行われている川辺川及びその支川の水辺(以下「川辺川の水辺」とする)、ホタルの観賞が行われている「五木小川下流部(ホタルの里)」、ハイキングなどが行われている「九州自然歩道」2 ルートが分布している。

以下、それぞれの場の状況を示す。

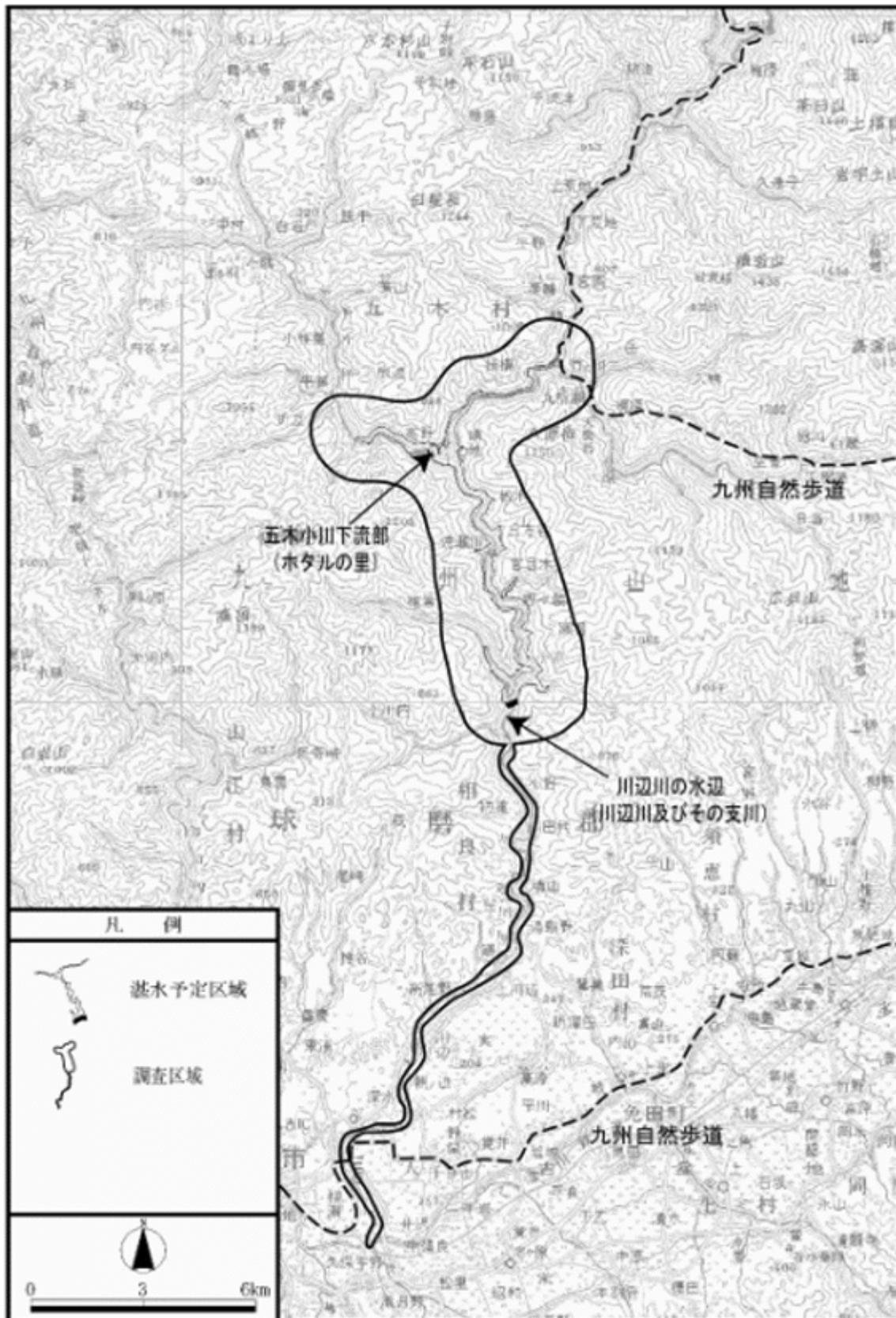


図 4. 6. 1-1 調査区域及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場

①川辺川の水辺

川辺川の水辺では、水遊び、カヌー、ラフティング、釣り、デイキャンプなどの様々な活動が行われている。とくに、釣り、カヌーは「水と緑の郷 相良村」(相良村役場企画課)や観光誌においてもその活動が紹介されている。

水遊び、デイキャンプは主に河原で行われている。川辺川は下流に向かうにつれて河原の面積が広がることから、特に下流部は水遊び、デイキャンプの活動に適している。

カヌーは主に事業区域より下流で行われており、相良村では村営のレンタルカヌーを利用することができる。また、ラフティングは主に水量が豊富な時に行われている。

釣りは調査区域内の河川全域において、主にアユ、ヤマメを対象として行われている。



写真 4. 6. 1-1 川辺川の水辺の状況

②五木小川下流部(ホタルの里)

五木小川下流部の五木中学校付近にはホタルが生息しており、「熊本県環境基本計画環境特性図(熊本県、平成5年3月)」によると、「ホタルの里」に位置付けられている。毎年6月にはホタル祭りが開催されており、ホタル観賞に訪れる人も多い。



写真 4. 6. 1-2 五木小川下流部（ホタルの里）の状況

③九州自然歩道(2 ルート)

泉村から川辺川に沿って竹の川を經由し下梶原川沿いを通り水上村に抜けるルート、人吉市から相良村の柳瀬橋を通り錦町に抜けるルートは九州自然歩道に指定されている。



写真 4. 6. 1-3 九州自然歩道の状況